

新技術発表会 in大阪

～ 新技術、新工法の理解、活用促進に向けて ～

第11回テーマ 「道路維持修繕編」

日時 **2013.11/27 水**
13:00～17:00 (受付12:00～)

会場 **エル・おおさか 南ホール**
(大阪市中央区北浜東3-14)
TEL.06-6942-0001 **定員100人**

新技術発表会プログラム

- 13:00～13:05 お知らせ
- 13:05～13:30 「VCS集塵装置搭載型路面切削機」
／ヴィルトゲン・ジャパン(株)
- 13:30～13:55 「アスファルト加熱保温BOX、折りたたみ式飛散防止ネット『作柵(サクサク)』」
／シーキューブ(株)
- 13:55～14:20 「コンクリート表面保護材『パーミエイトHS-300』」
／(株)ディ・アンド・ディ
- 14:20～14:30 休憩(10分)
- 14:30～14:55 「道路管理評価システム」
／中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京(株)
- 14:55～15:20 「先行掘削併用型排水パイプ打込み工法(先掘り水抜き工法)」
／西日本高速道路メンテナンス九州(株)
- 15:20～15:45 「地山補強土『PAN WALL(パンウォール)工法』」
／PAN WALL工法協会(株)テクノサポート
- 15:45～15:55 休憩(10分)
- 15:55～16:20 「ガラスロック工法」
／(有)ビーエスケイ
- 16:20～16:45 「ガスフレーム式金属溶射による重防食技術」
／防食溶射協同組合
- 16:45～17:00 質問・名刺交換会

申込方法

① FAX.06-6201-3928

(裏面の用紙に記載)

② ホームページ (URL)

<http://www.kentsu.co.jp>

※弊社からお申込完了と受講料のお振込み案内をお送りします

参加費 **無 料**

申込期限

2013年11月22日 (定員になり次第、締め切らせていただきます)

連絡先

(株)建通新聞社大阪支社「新技術発表会」係 (担当: 曾根、松本(道))

TEL.06-6201-3927

継続教育

CPDS認定(申請中)

全国土木施工管理技士会連合会のCPDS認定講習(4ユニット)

アクセス



● 京阪・地下鉄谷町線「天満橋駅」より西へ300m

● 京阪・地下鉄堺筋線「北浜駅」より東へ500m

● 地下鉄御堂筋線「淀屋橋駅」より東へ1,200m

● JR東西線「大阪天満宮駅」より南へ850m

● 車でお越しの場合は、阪神高速東大阪線、法門坂出口を左折して直進、京阪東口交差点左折、西へ信号5つ目

**エル・おおさか
本館・南館**

建通新聞社 大阪支社

道路維持修繕編

1

VCS集塵装置搭載型路面切削機

ヴィルトゲン・ジャパン(株)

本技術は、路面切削時に発生する粉塵を油圧モーター駆動式ブロワ集塵装置(Vacuum cutting system(VCS))で抑制する路面切削機で、従来は集塵装置のない路面切削機に対応していた。本技術の活用により、粉塵を吸引することでその発生を抑え、周辺環境の向上が図れる。

2

アスファルト加熱保温BOX、折りたたみ式飛散防止ネット「作柵(サクサク)」

シーキューブ(株)

本技術は、少量の加熱アスファルト混合物を長時間加熱保温する技術である。従来のシート等で覆う温度低下対策に比べ、ダンプカーに搭載した保温BOX内で加熱保温する事により、再調達によるプラントへの移動ロスを解消し、温度低下による材料廃棄の削減等を実現した。従来は、型枠用パネルによる防護で対応していたが、パネルが重く、作業員がパネルを支える方法であった。しかし新技術では、折りたたみ式軽量ネットと転倒防止バーの自立式により、運搬設置が容易で作業員が不要となり、その結果、施工性と経済性の向上が期待できる。

3

コンクリート表面保護材「パーミエイトHS-300」

(株)ディ・アンド・ディ

「パーミエイトHS-300」をコンクリートの表面保護に適用することにより、中性化・塩害・凍害・アルカリ骨材反応などを大きく抑制する。形成される塗膜は無機系であるため紫外線による劣化が無く、有機溶剤を使用しないためVOC発生を抑制し環境負荷を低減できる。

4

道路管理評価システム

中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京(株)

本技術は、測定車による縦横断測量技術で、従来は水準儀で測量を行っていた。本技術の活用により、コストの縮減、工程の短縮、交通事故対策等の道路管理水準の向上が期待出来る。

5

先行掘削併用型排水パイプ打込み工法(先掘り水抜き工法)

西日本高速道路メンテナンス九州(株)

既設法面に排水パイプを設置する技術で小型軽量化された専用機によって先行掘削を行い、併せてその孔内に排水パイプを打込み挿入する工法である。礫を含む硬質地盤でも施工が可能で従来用いられてきたボーリングマシンに代わって施工性及び経済性の向上が期待できる。

6

地山補強土「PAN WALL(パンウォール)工法」

PAN WALL工法協会 (株)テクノサポート

PAN WALL工法は急勾配斜面安定工法、地山補強土工法の理論に基づく工法です。比較的短い補強材と表面工としてプレキャストコンクリート板を使用します。急勾配(1分~5分、3分を標準)化により自然法面や支障物を保護し、「逆巻き工法」を基本とした安全性の高い工法です。

7

グラスロック工法

(有)ビーエスケイ

新技術は道路等の維持管理にかかる除草コストを軽減するために、主に既設の舗装と構造物との隙間やクラックなどから生えてくる雑草をカッター、高圧洗浄機を用いて雑草を根から除去し、同時に土砂等を洗浄し、充填材を充填することにより、雑草の侵入及び発生を防ぐ工法です。

8

ガスフレーム式金属溶射による重防食技術

防食溶射協同組

本技術は、鋼構造物にガスフレーム式金属溶射を用いた重防食技術である。従来は、重防食塗装(C4系塗装)で対応してきた。本技術により鋼構造物の耐久性の向上が図れ、メンテナンス期間が延長できライフサイクルコストの縮減が図れる。

11月27日(水)

新技術発表会

in大阪

受講申込書

FAX番号: **06-6201-3928**

右記、記入の上
上記FAX番号迄ご送付ください

所 属 企業名・団体名

氏 名

※複数の場合は参加される方
全員をご記入ください

住 所 〒

電話番号

FAX番号

E-mail